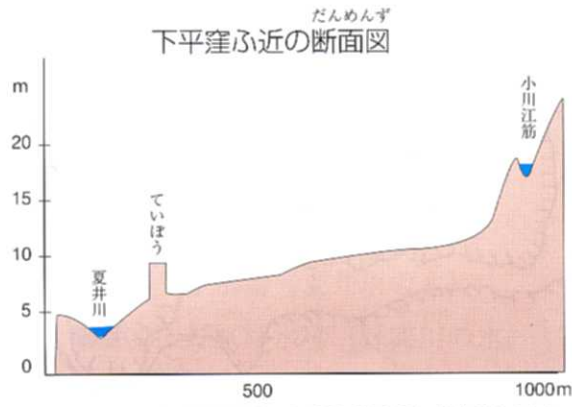


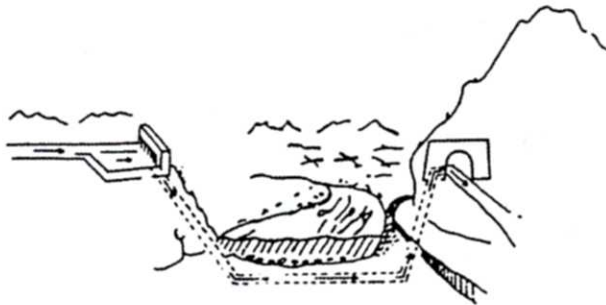
○ 小川江筋のひみつ

工事をするとき、どんな苦労や工夫があったのでしょうか。



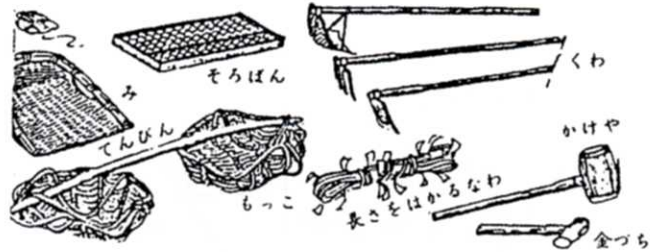
水路を見下ろす山ぎわを通る小川江筋

夏井川は、田畑より低いところを流れているため、その水を取り入れることができませんでした。そこで、田畑にしようと考えた土地よりも高い、夏井川の上流に水の取り入れ口をつくり、また、用水路は、田畑よりも高い山ぎわにそって通すことにしたのです。



サイフオンのしくみ

江筋は、川を横切らなければならないときもあり、川の下にずい道（トンネル）をほって水を流す方法（サイフォン）がつけられました。現在、3カ所見られます。

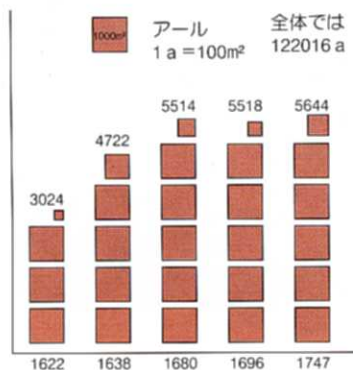


工事に使われた道具

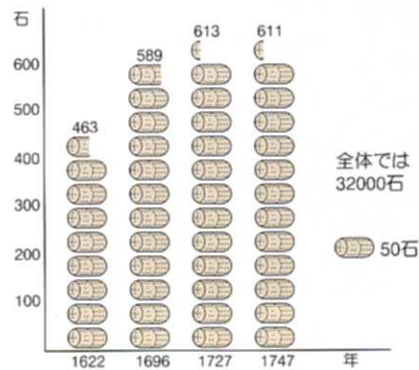
(いわき社会科地域教材研究会編「社会科の散歩道」より)

江筋ができてから、土地のようすと米の生産量はどのようにかわったのでしょうか。

こうさくめんせき 耕地面積のうつりかわり (上神谷村)



米の生産のうつりかわり (上神谷村)



(「いわき市史 第2巻」より)